

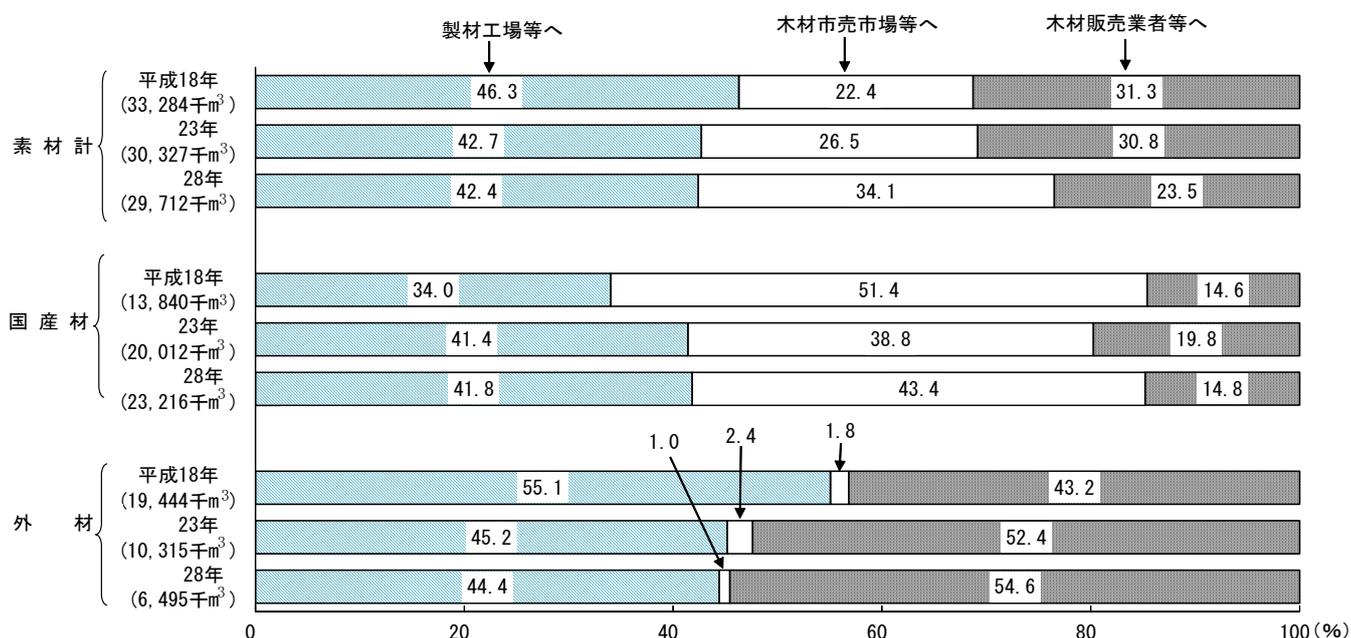
1 木材の流通構造

(1) 素材

ア 素材供給者（国産材は素材生産者、外材は総合商社及びその他）における国産材の出荷量は2,321万6千 m^3 で前回調査に比べ16.0%増加し、外材の出荷量は649万5千 m^3 で前回調査に比べ37.0%減少した。

これを出荷先別出荷割合で見ると、「製材工場等へ」（需要者）の直接出荷が国産材は41.8%で前回調査に比べ0.4ポイント上昇し、外材は44.4%で前回調査に比べ0.8ポイント低下した。

図1 素材供給者の素材出荷先別出荷割合

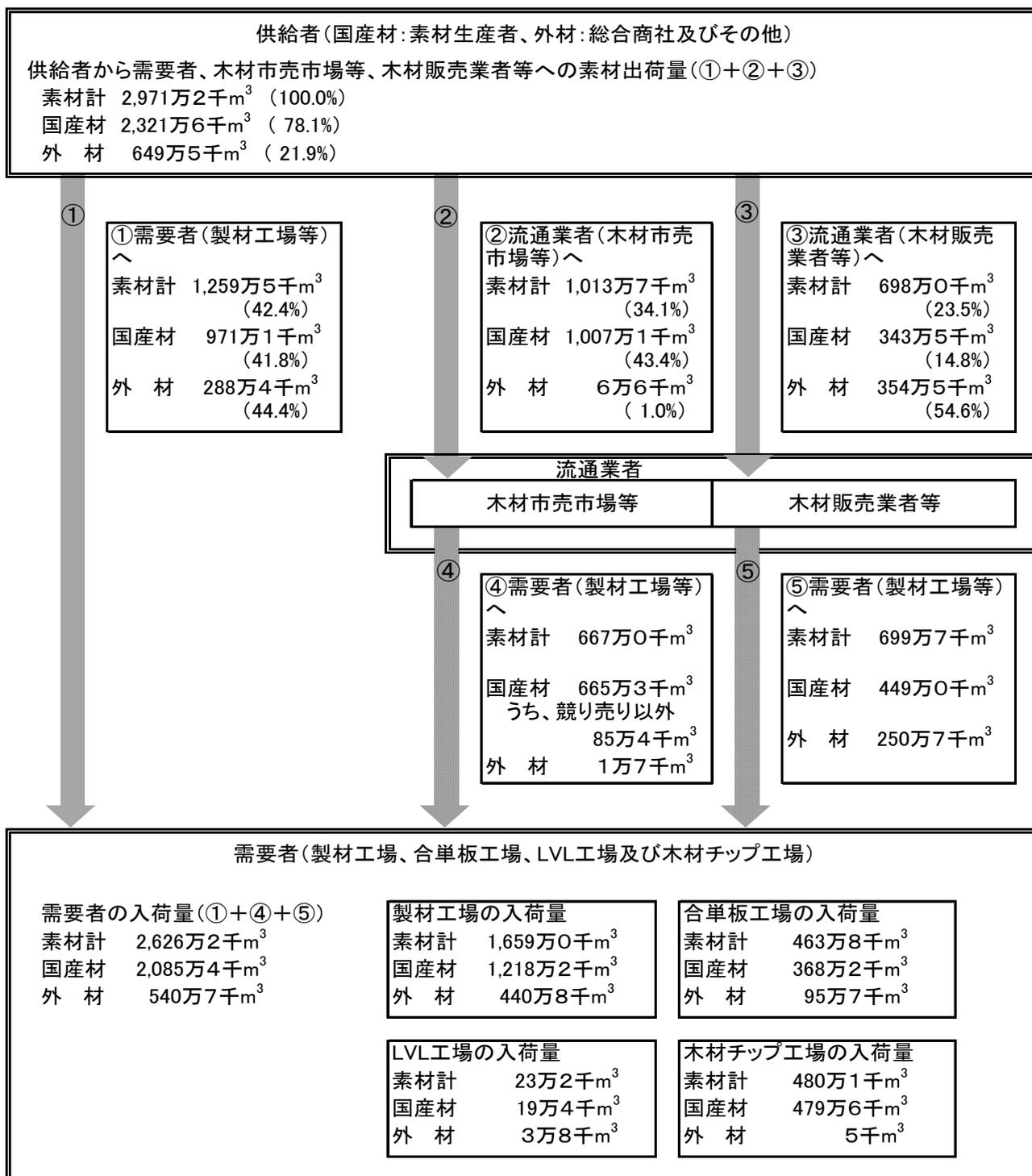


イ 国産材における木材市売市場から需要者である製材工場及び合単板工場への入荷量は、それぞれ534万5千 m^3 、24万4千 m^3 となっており、このうち競り売り以外は、それぞれ84万6千 m^3 (15.8%)、8千 m^3 (3.3%)であった。

表1 国産材における木材市売市場等から需要者（工場）への入荷量

	木材市売市場等から		木材センターから
	競り売り	以外	
国産材	単位: 千 m^3		
製材工場	5,345 (100.0%)	846 (15.8%)	669
合単板工場	244 (100.0%)	8 (3.3%)	146

図2 素材の流通経路



注: 1 ①、②、③における「素材計」、「国産材」、「外材」の()内の比率は、供給者から需要者、木材市売市場等、木材販売業者等への素材出荷量における「素材計」、「国産材」、「外材」をそれぞれ100とした比率である。

2 ④の「うち競り売り以外」は、木材市売市場等から製材工場、合単板工場への入荷量のうちの競り売り以外の量である。

3 ⑤の木材販売業者等から需要者への入荷量には、工場、総合商社、その他からの入荷量も含む。

4 上図の素材の供給量と需要量は流通業者間の物流を対象外としているため一致しない。

5 統計表との関係については(参考)18ページを参照。

(参 考)

素材 (図 2) における供給者の出荷量及び需給者の入荷量

●算出方法
 供給者の出荷量 (①+②+③) = 下表 「①」、 「②」、 「③」 の国産材、外材及び合計
 需要者の入荷量 (①+④+⑤) = 下表 「①」、 「④」、 「⑤」 の国産材、外材及び合計

－ 統計表 (36～39ページ) より抜粋 －

(1) 素材の入荷先別入荷量

イ 国産材

区 分	計	流 通 業 者										そ の 他					
		国・公共 機関から	自ら素材 生産した もの	素材生産 業者から	製材工場 から	合単板・ LVL工場 から	プレカッ ト 工場から	集 成 材 工場から (CLT用を 含む)	木材チッ プ 工場から	木材市売 市場から	うち競り 売り以外	木材セン ターから	木材販売 業者から	総合商社 から	外国から 直接輸入	産業廃棄 物処理業 者から	その他 から
入 荷 量																	
工 場 計	20,854	①1,290	①1,569	①6,852	⑤ 406	⑤ 250	⑤ 2	⑤ 0	…	④5,746	854	④ 907	⑤2,149	⑤985	…	⑤ 33	⑤ 664
製 材 工 場	12,182	859	954	2,668	208	58	…	…	…	5,345	846	669	720	378	…	…	324
合 単 板 工 場	3,682	64	24	1,636	17	160	…	…	…	244	8	146	591	581	…	…	219
L V L 工 場	194	-	-	38	-	26	…	…	…	14	-	33	84	-	…	…	-
木材チップ工場	4,796	367	591	2,510	180	7	2	0	…	143	…	59	755	27	…	33	121
木材流通業者計	20,208	2,683	2,632	8,190	779	471	…	…	4	1,182	…	309	1,085	2,107	…	…	766
木材市売市場等	10,998	②1,885	②1,657	②6,529	216	0	…	…	4	149	…	2	106	3	…	…	446
木材市売市場	10,556	1,827	1,408	6,467	190	0	…	…	4	149	…	2	106	3	…	…	399
木材センター	442	58	249	62	25	-	…	…	-	0	…	1	-	-	…	…	47
木材販売業者	9,210	③ 799	③ 975	③1,661	564	471	…	…	0	1,032	…	307	978	2,104	…	…	320

ウ 外材

区 分	計	流 通 業 者										そ の 他		
		製材工場 から	合単板・ LVL工場 から	プレカッ ト 工場から	集 成 材 工場から (CLT用を 含む)	木材チッ プ 工場から	木材市売 市場から	うち競り 売り以外	木材セン ターから	木材販売 業者から	総合商社 から	外国から 直接輸入	産業廃棄 物処理業 者から	その他 から
入 荷 量														
工 場 計	5,408	⑤ 40	⑤ 21	…	…	…	④ 14	…	④ 3	⑤2,446	①2,357	① 0	…	① 526
製 材 工 場	4,408	34	12	…	…	…	14	…	3	2,436	1,681	…	…	227
合 単 板 工 場	957	0	6	…	…	…	-	…	0	4	648	…	…	299
L V L 工 場	38	-	4	…	…	…	-	…	-	5	29	…	…	-
木材チップ工場	5	5	-	-	-	…	-	…	-	-	-	0	-	-
木材流通業者計	5,495	814	114	…	…	5	174	…	38	739	3,038	…	…	574
木材市売市場等	185	96	1	…	…	1	8	…	0	13	② 64	…	…	② 3
木材市売市場	120	30	1	…	…	1	8	…	0	13	64	…	…	3
木材センター	66	66	-	…	…	-	-	…	-	-	-	…	…	-
木材販売業者	5,310	718	113	…	…	4	166	…	37	727	③2,974	…	…	③ 571

(2) 製材品

製材工場（供給者）における製材品出荷量は929万3千 m^3 で、前回調査に比べ1.5%減少した。

これを出荷先別出荷割合で見ると「工場へ」及び「建築業者等へ」を合わせた需要者への直接出荷が45.3%で、前回調査に比べ1.6ポイント上昇した。

一方、「木材市売市場等へ」が18.2%で、前回調査に比べ3.5ポイント低下し、「木材販売業者等へ」は36.5%で、前回調査に比べ2.0ポイント上昇した。

また、国産材、外材（国内生産）別にみると、「工場へ」及び「建築業者等へ」の直接出荷が、国産材では38.8%で前回調査に比べ5.9ポイント低下し、外材（国内生産）では62.4%で前回調査に比べ20.5ポイント上昇した。

図3 製材工場の製材品出荷先別出荷割合

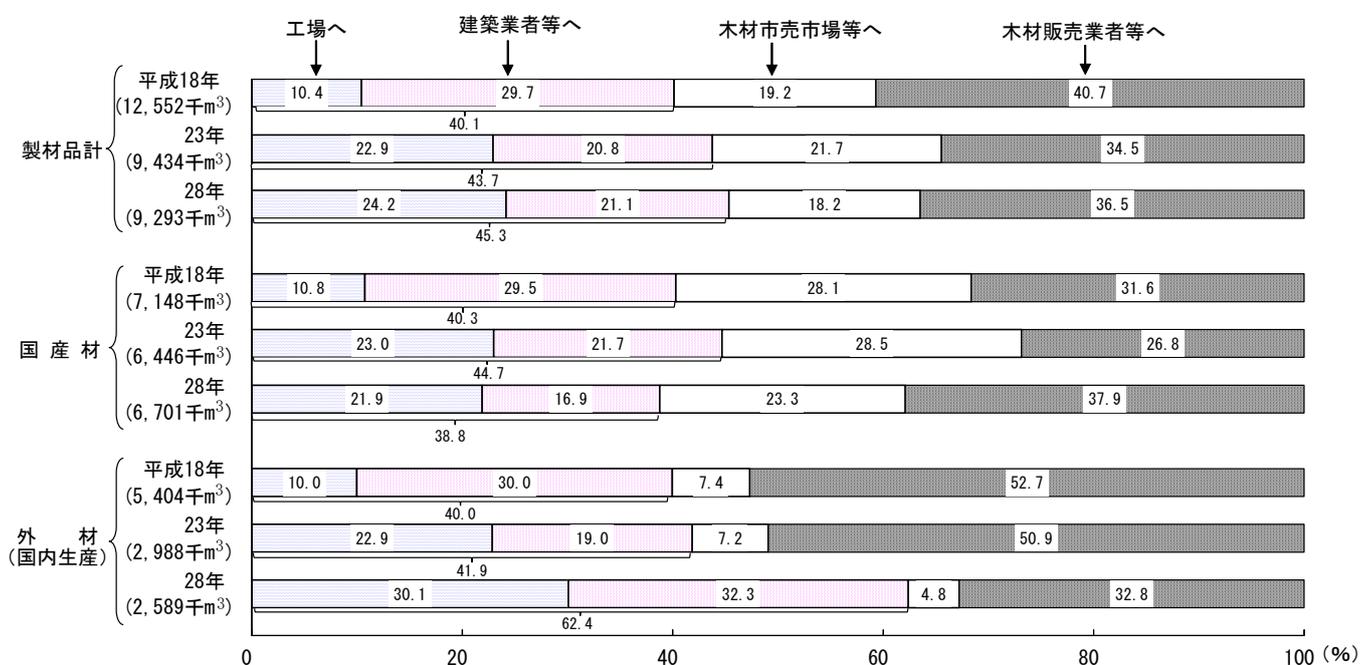
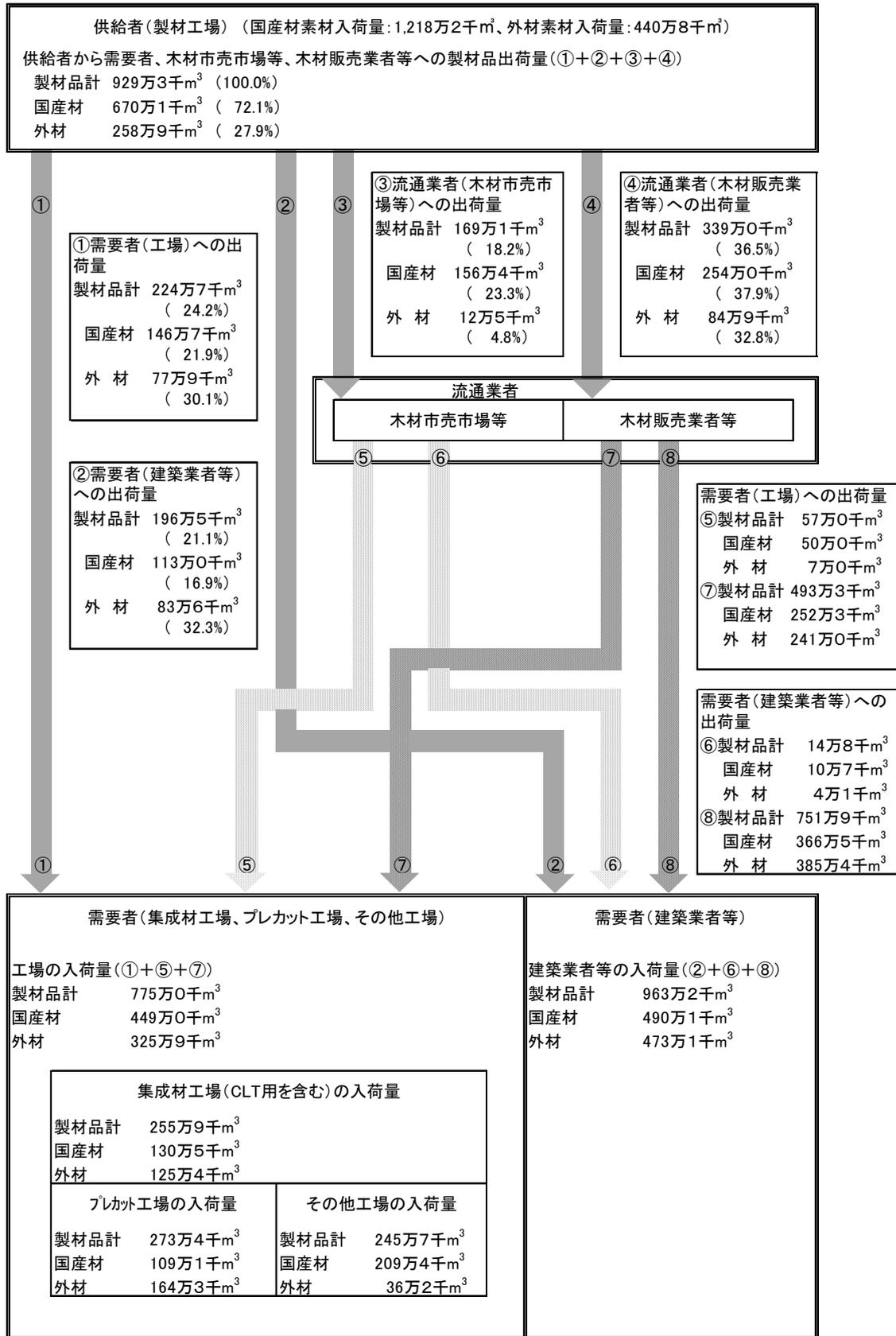


図4 製材品の流通経路



注: 1 ①、②、③、④における「製材品計」、「国産材」、「外材」の()内の比率は、供給者から需要者、木材市売市場等、木材販売業者等への製材品出荷量における「製材品計」、「国産材」、「外材」を100とした比率である。
 2 ④の製材工場から木材販売業者等への出荷量には、総合商社への出荷量も含む。
 3 ⑦、⑧の木材販売業者等から需要者への出荷量には、総合商社からの出荷は含まない。
 4 工場の入荷量のうち、「その他工場」は製材工場、合単板工場及びLVL工場である。
 5 統計表との関係については(参考)21ページを参照。

(参 考)

製材品（図4）の流通経路別供給者の出荷量及び需要者の入荷量について

●算出方法
供給者の出荷量（①+②+③+④）=下表「①」、「②」、「③」、「④」の国産材、外材及び合計
需要者（工場）の入荷量（①+⑤+⑦）=下表「①」、「⑤」、「⑦」の国産材、外材及び合計
需要者（建築業者等）の入荷量（②+⑥+⑧）=下表「②」、「⑥」、「⑧」の国産材、外材及び合計

－ 統計表（46～49ページ）より抜粋 －

(4) 製材品の出荷先別出荷量

イ 国産材

区 分	計	工 場				流 通 業 者				その他	
		製材工場 へ	合単板・ LVL工場へ	プレカッ ト 工場へ	集成材工場へ (CLT用を含 む)	木材市売 市場へ	木材セン ターへ	木材販売 業者へ	総合商社 へ	建築業者 へ	その他へ
出 荷 量											
製材工場	6,701	① 185	① 5	① 560	① 717	③1,407	③ 156	④1,590	④ 950	② 375	② 755
木材流通業者計	9,636	1,899	6	531	587	409	141	2,197	95	3,409	362
木材市売市場等	1,939	⑤ 268	⑤ 6	⑤ 217	⑤ 9	238	64	1,014	17	⑥ 91	⑥ 15
木材市売市場	1,777	263	-	199	5	229	63	923	15	66	14
木材センター	163	5	6	18	4	9	1	91	2	26	2
木材販売業者	7,697	⑦1,631	-	⑦ 314	⑦ 578	171	77	1,183	78	⑧3,318	⑧ 347

ウ 外材（国内生産）

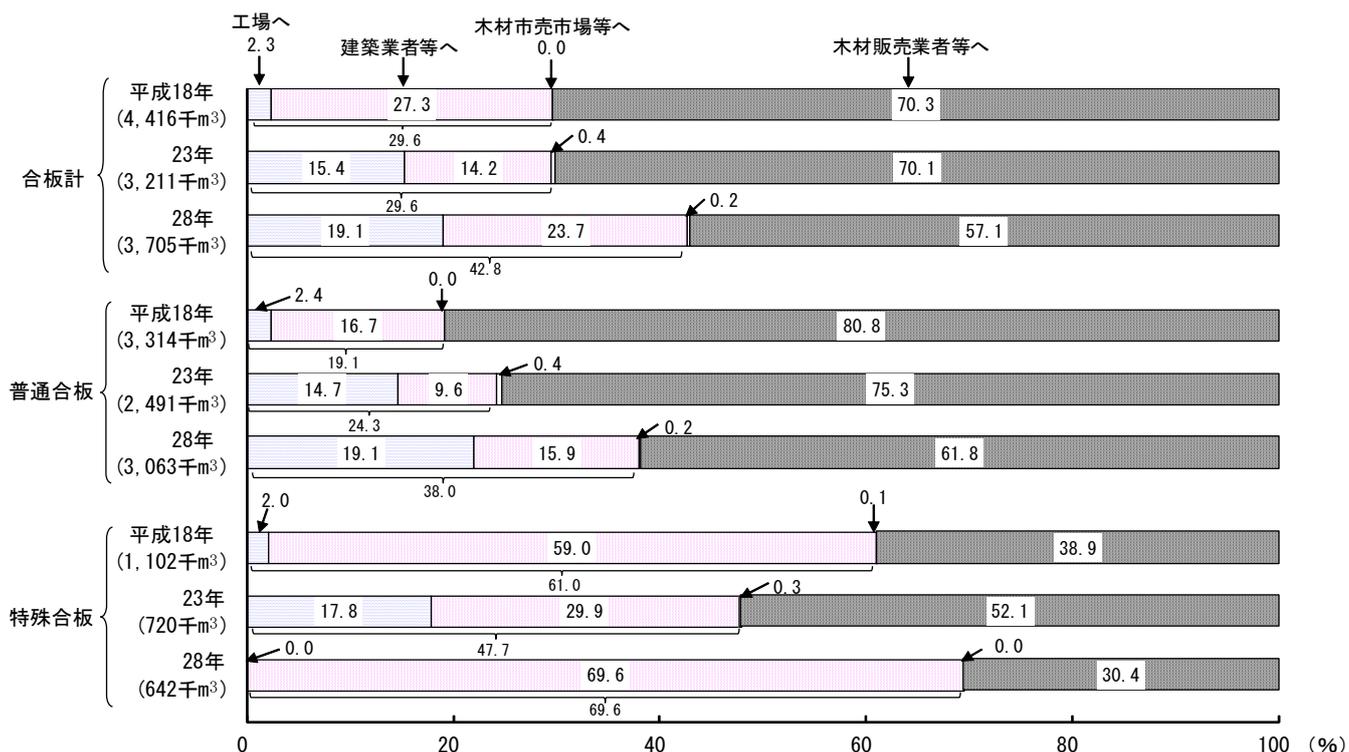
区 分	計	工 場				流 通 業 者				その他	
		製材工場 へ	合単板・ LVL工場へ	プレカッ ト 工場へ	集成材工場へ (CLT用を含 む)	木材市売 市場へ	木材セン ターへ	木材販売 業者へ	総合商社 へ	建築業者 へ	その他へ
出 荷 量											
製材工場	2,589	① 5	-	① 340	① 434	③ 84	③ 41	④ 673	④ 176	② 113	② 723
木材流通業者計	9,679	358	0	1,303	820	171	115	2,914	103	3,315	581
木材市売市場等	748	⑤ 3	-	⑤ 67	-	61	19	556	1	⑥ 37	⑥ 4
木材市売市場	616	3	-	64	-	60	16	450	1	17	4
木材センター	132	-	-	2	-	1	2	106	-	20	-
木材販売業者	8,931	⑦ 354	⑦ 0	⑦1,236	⑦ 820	110	96	2,358	102	⑧3,277	⑧ 577

(3) 合板及びLVL

ア 合単板工場（供給者）における普通合板出荷量は306万3千 m^3 で、前回調査に比べ23.0%増加し、特殊合板出荷量は64万2千 m^3 で、前回調査に比べ10.8%減少した。

これを出荷先別出荷割合で見ると、「工場へ」及び「建築業者等へ」を合わせた需要者への直接出荷が普通合板は38.0%で前回調査に比べ13.7ポイント上昇し、特殊合板は69.6%で前回調査に比べ21.9ポイント上昇した。

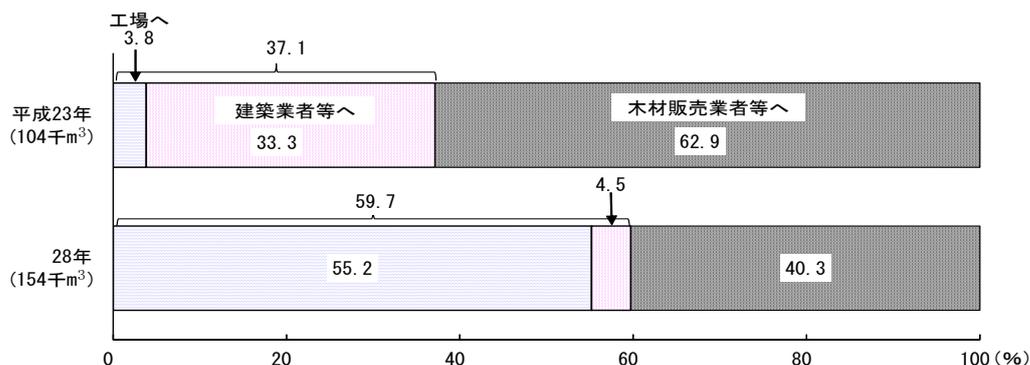
図5 合単板工場の合板出荷先別出荷割合



イ LVL工場（供給者）におけるLVL出荷量は15万4千 m^3 で、前回調査に比べ48.1%増加した。

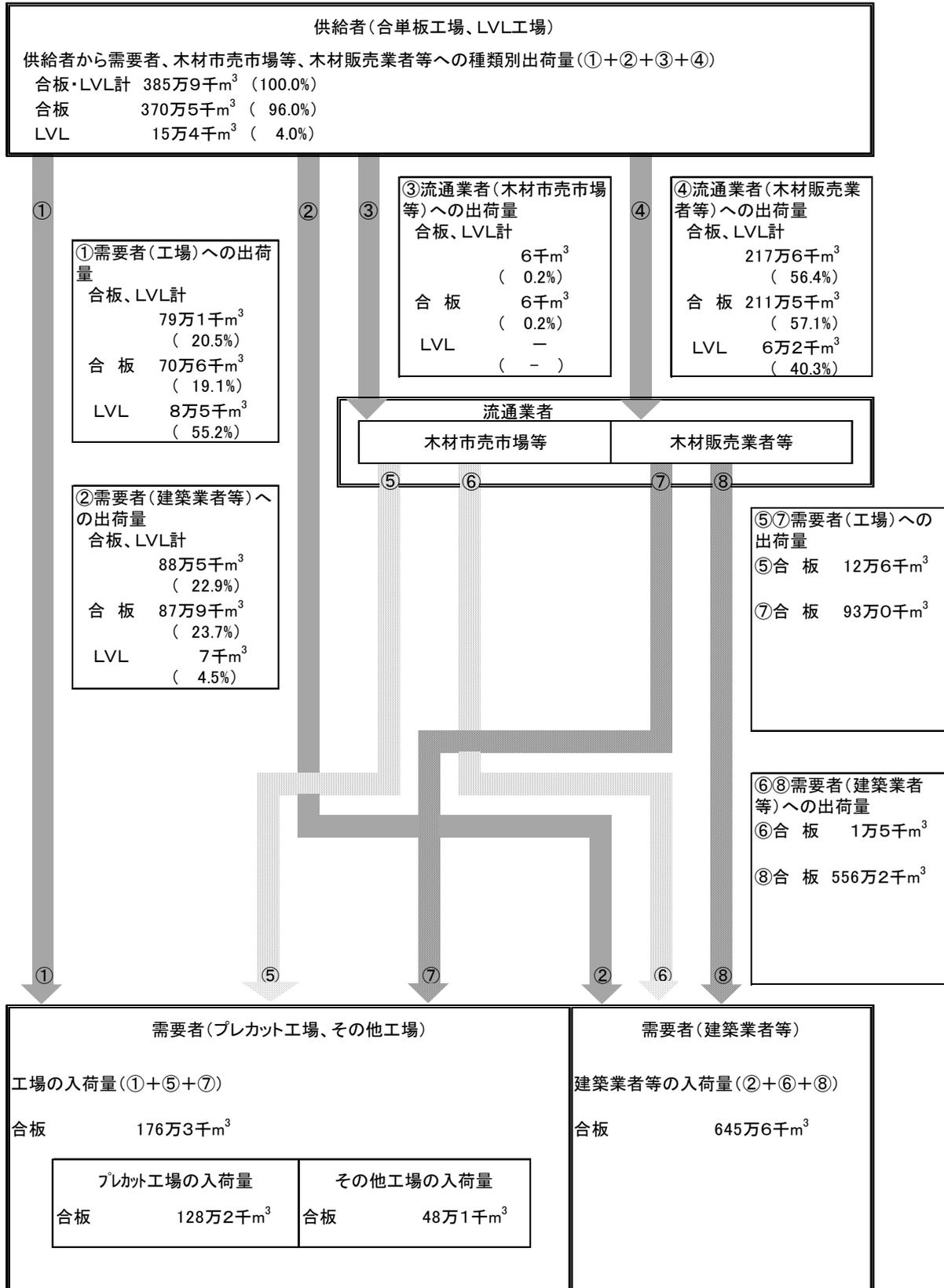
これを出荷先別出荷割合で見ると、「工場へ」及び「建築業者等へ」を合わせた需要者への直接出荷が59.7%で、前回調査に比べ22.6ポイント上昇した。

図6 LVL工場のLVL出荷先別出荷割合



注：平成18年は、調査を実施していない。

図7 合板・LVLの流通経路



注: 1 ①、②、③、④における「合板・LVL計」、「合板」、「LVL」の()内の比率は、供給者から需要者、木材市売市場等、木材販売業者等への種類別出荷量における「合板・LVL計」、「合板」、「LVL」を100とした比率である。
 2 ④の合単板工場から木材販売業者等への出荷量には、総合商社への出荷量も含む。
 3 ⑦、⑧の木材販売業者等から需要者への出荷量には、総合商社からの出荷は含まない。
 4 工場の入荷量のうち、「その他工場」は製材工場、合単板工場、LVL工場及び集成材工場である。
 5 合板とは、普通合板と特殊合板のことである。
 6 統計表との関係については(参考)24ページを参照。

(参 考)

合板・LVL (図7) における供給者の出荷量及び需要者の入荷量について

<p>●算出方法</p> <p>供給者の出荷量 合板 (①+②+③) = 下表(5)の「①」、「②」、「③」、「④」の合計 LVL (①+②+③) = 下表(8)の「①」、「②」、「③」、「④」の合計</p> <p>需要者(工場)の入荷量 合板 (①+⑤+⑦) = 下表(5)の「①」、「⑤」、「⑦」の合計</p> <p>需要者(建築業者等)の入荷量 合板 (②+⑥+⑧) = 下表(5)の「②」、「⑥」、「⑧」の合計</p>

－ 統計表 (50～53ページ) より抜粋 －

(5) 合板計の出荷先別出荷量

単位：千m ³											
区 分	計	工 場				流 通 業 者				そ の 他	
		製材工場 へ	合単板・ LVL工場へ	プレカッ ト 工場へ	集成材工 場へ(CLT 用を含む)	木材市売 市場へ	木材セン ターへ	木材販売 業者へ	総合商社 へ	建築業者 へ	その他へ
出 荷 量											
合 単 板 工 場	3,705	① 1	① 137	① 568	① 0	③ 6	③ 0	④ 533	④ 1,582	② 365	② 514
木材流通業者計	10,783	39	304	714	0	3	21	3,777	348	4,793	783
木材市売市場等	322	⑤ 23	⑤ 89	⑤ 14	-	0	10	170	-	⑥ 15	⑥ 0
木材市売市場	200	23	89	14	-	0	10	57	-	7	0
木材センター	122	-	-	-	-	-	-	114	-	8	-
木材販売業者	10,461	⑦ 15	⑦ 215	⑦ 700	⑦ 0	3	12	3,606	348	⑧ 4,778	⑧ 783

(8) LVLの出荷先別出荷量

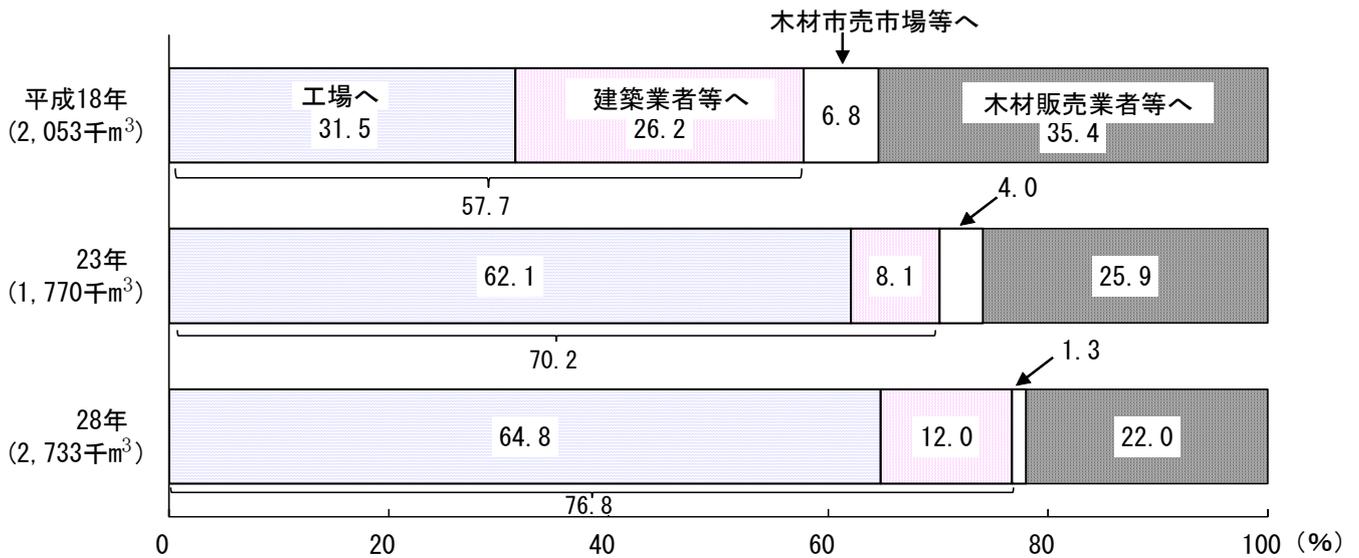
単位：千m ³											
区 分	計	工 場				流 通 業 者				そ の 他	
		製材工場 へ	合単板・ LVL工場へ	プレカッ ト 工場へ	集成材工 場へ(CLT 用を含む)	木材市売 市場へ	木材セン ターへ	木材販売 業者へ	総合商社 へ	建築業者 へ	その他へ
出 荷 量											
L V L 工 場	154	-	① 18	① 67	① 0	-	-	④ 5	④ 57	② 0	② 6

(4) 集成材及びCLT

ア 集成材工場（供給者）における集成材出荷量は273万3千 m^3 で、前回調査に比べ54.4%増加した。

これを出荷先別出荷割合で見ると「工場へ」及び「建築業者等へ」を合わせた需要者への直接出荷が76.8%で、前回調査に比べ6.6ポイント上昇した。

図8 集成材工場の集成材出荷先別出荷割合



イ CLT工場（供給者）におけるCLT出荷量は2千 m^3 であった。

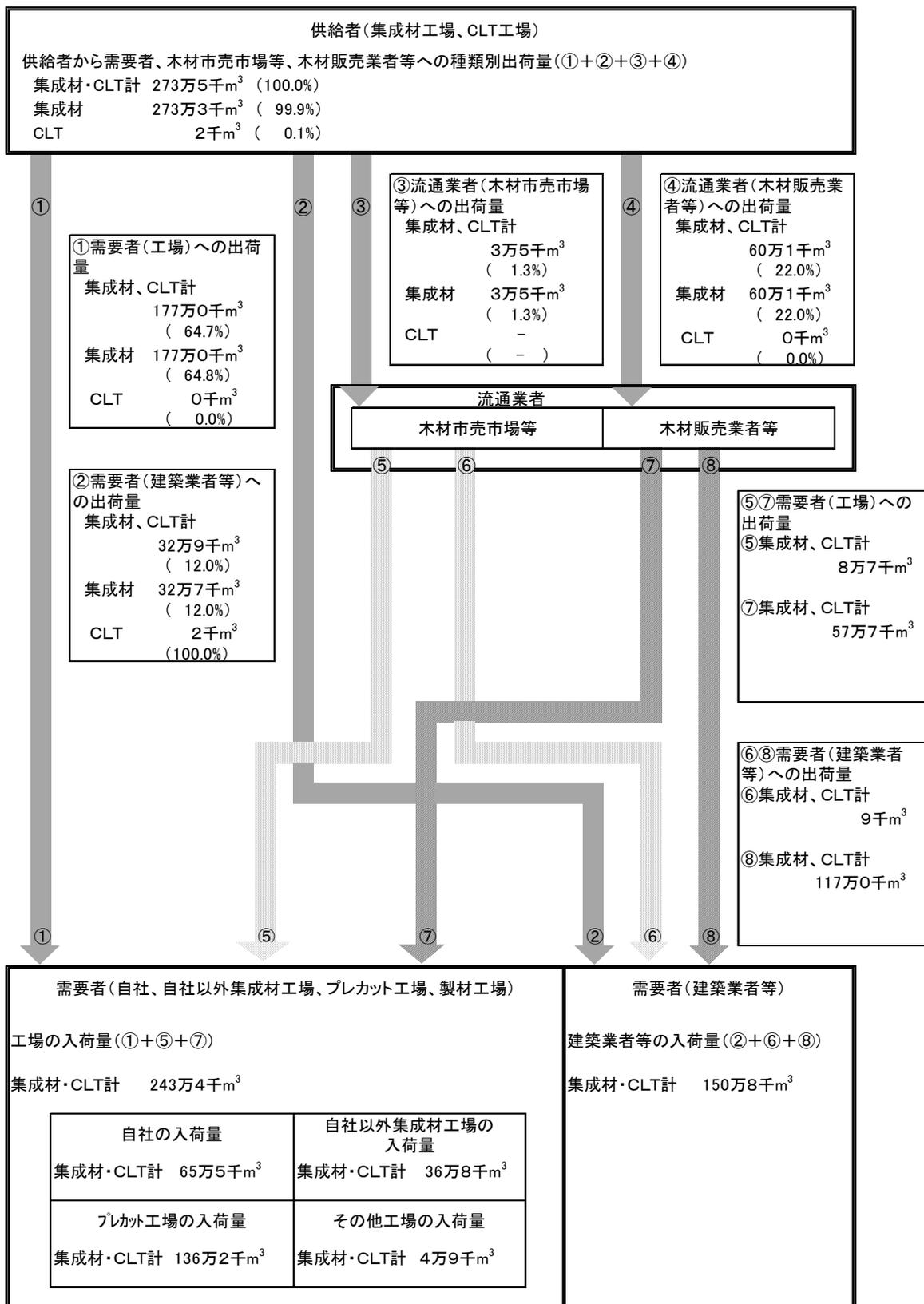
これを出荷先別出荷割合で見ると、「工場へ」及び「木材販売業者等へ」への出荷が一部みられるものの、「建築業者等へ」への出荷が100.0%であった。

図9 CLT工場のCLT出荷先別出荷割合



注：平成28年から調査を実施した。

図10 集成材・CLTの流通経路



注: 1 ①、②、③、④における「集成材・CLT計」、「集成材」、「CLT」の()内の比率は、供給者から需要者、木材市売市場等、木材販売業者等への種類別出荷量における「集成材・CLT計」、「集成材」、「CLT」を100とした比率である。

2 供給者(集成材・CLT工場)への材料入荷量のうち、外材は国内製造と輸入製品の計である。

3 ④の集成材工場から木材販売業者等への出荷量には、総合商社への出荷量も含む。

4 ⑦、⑧の木材販売業者等から需要者への出荷量には、総合商社からの出荷は含まない。

5 工場の入荷量のうち、「その他工場」は製材工場、合単板・LVL工場である。

6 統計表との関係については(参考)27ページを参照。

(参 考)

集成材 (図10) における供給者の出荷量及び需要者の入荷量について

<p>●算出方法</p> <p>供給者の出荷量 集成材 (①+②+③) = 下表(10)の「①」、「②」、「③」、「④」の合計 CLT (①+②+③) = 下表(11)の「①」、「②」、「③」、「④」の合計</p> <p>需要者 (工場) の入荷量 集成材 (①+⑤+⑦) = 下表(10)の「①」、「⑤」、「⑦」の合計</p> <p>需要者 (建築業者等) の入荷量 集成材 (②+⑥+⑧) = 下表(10)の「②」、「⑥」、「⑧」の合計</p>
--

－ 統計表 (54, 55ページ) より抜粋 －

(10) 集成材の出荷先別出荷量

単位: 千m ³												
区 分	計	工 場					流 通 業 者				そ の 他	
		自社へ	製材工場へ	合単板・LVL工場へ	プレカット工場へ	集成材工場へ (CLT用を含む)	木材市売市場へ	木材センターへ	木材販売業者へ	総合商社へ	建築業者へ	その他へ
出 荷 量												
集成材工場	2,733	① 655	① 6	-	① 1,039	① 69	③ 13	③ 22	④ 243	④ 358	② 198	② 128
木材流通業者計	2,331	...	40	2	323	298	67	58	329	35	1,117	62
木材市売市場等	163		⑤ 35	⑤ 1	⑤ 41	⑤ 10	2	2	62	1	⑥ 9	⑥ 0
木材市売市場	127	...	35	-	29	10	2	2	46	-	3	0
木材センター	36	...	-	1	11	-	-	-	17	1	6	-
木材販売業者	2,168	...	⑦ 5	⑦ 1	⑦ 282	⑦ 288	65	56	266	34	⑧ 1,108	⑧ 62

(11) CLTの出荷先別出荷量

単位: 千m ³												
区 分	計	工 場					流 通 業 者				そ の 他	
		自社へ	製材工場へ	合単板・LVL工場へ	プレカット工場へ	集成材工場へ (CLT用を含む)	木材市売市場へ	木材センターへ	木材販売業者へ	総合商社へ	建築業者へ	その他へ
出 荷 量												
CLT工場	2	① 0	-	-	① 0	-	-	-	-	④ 0	② 0	② 2

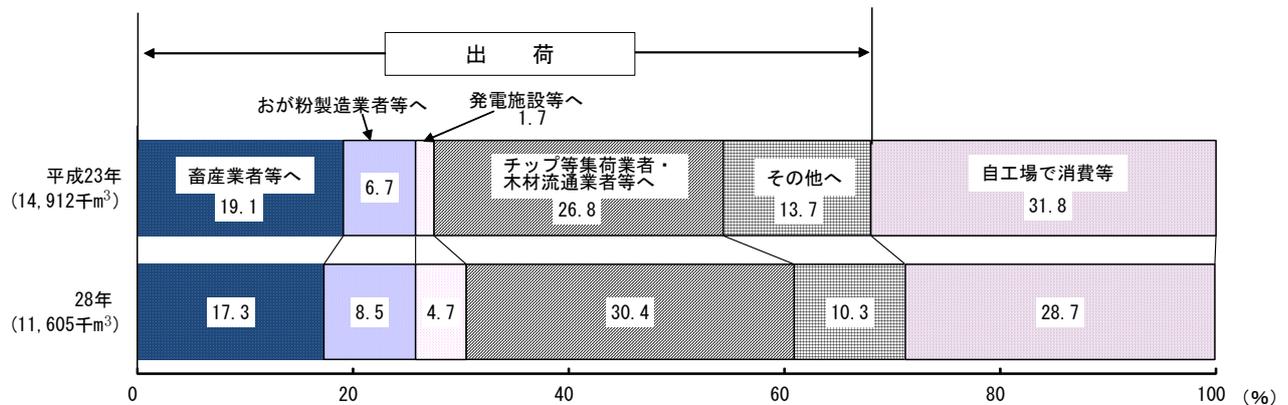
2 工場残材の出荷先別出荷量

製材工場、合単板工場、L V L工場、プレカット工場、集成材工場及びC L T工場における工場残材の出荷量は、1,160万5千m³で、前回調査に比べ22.2%減少した。

これを出荷先別出荷割合で見ると、「畜産業者等へ」が17.3%となり、前回調査に比べ1.8ポイント低下したものの、「チップ等集荷業者・木材流通業者等へ」が30.4%、「おが粉製造業者等へ」が8.5%、「発電施設等へ」が4.7%となり、前回調査に比べそれぞれ3.6ポイント、1.8ポイント、3.0ポイント上昇した。

また、「自工場で消費等」が28.7%で前回調査に比べ3.1ポイント低下した。

図11 工場残材の出荷先別出荷割合



注：1 「発電施設等へ」は、発電施設、熱利用施設、熱電併給施設をいう。なお、前回調査では発電施設を火力発電施設として調査している。

2 「その他へ」は、木質ボード工場、ペレット製造業者を含む。「自工場で消費等」には廃棄等を含む。

3 平成23年は、C L T工場は含まれていない。

4 平成18年は、調査を実施していない。

3 販売金額規模別でみた木材工場及び木材流通業者数

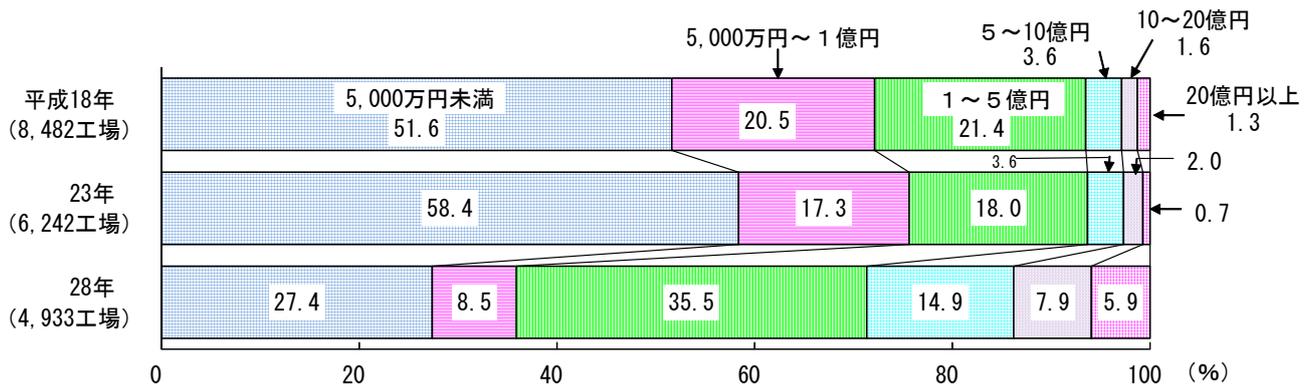
(1) 工場

ア 製材工場

工場数は4,933工場で、前回調査に比べ1,309工場（21.0%）減少した。

販売金額規模別工場数の構成割合をみると、前回調査に比べ「5,000万円未満」及び「5,000万円～1億円」の階層において低下となったものの、それ以上の階層においては上昇となった。

図12 製材工場の販売金額規模別工場数割合

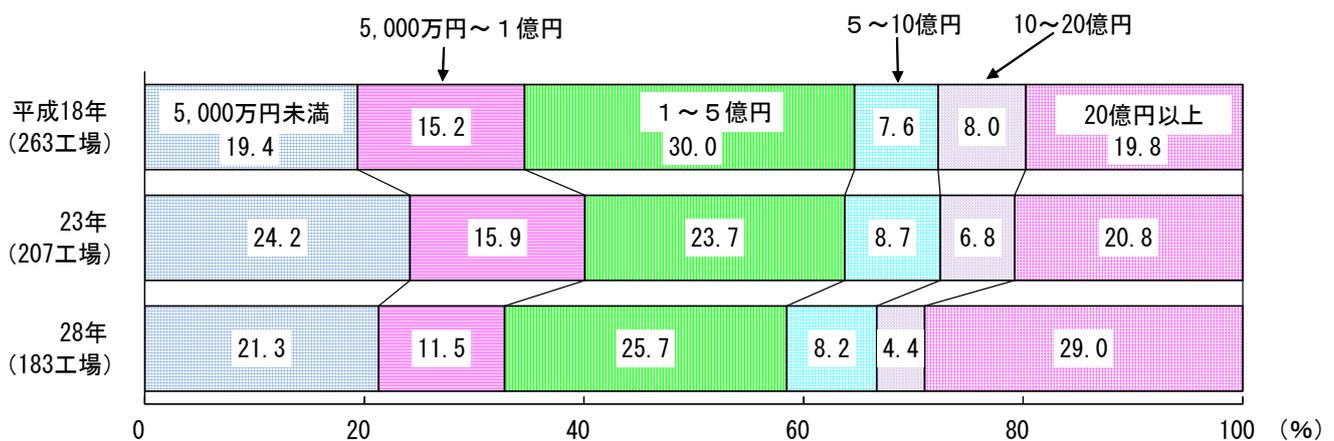


イ 合単板工場

工場数は183工場で、前回調査に比べ24工場（11.6%）減少した。

販売金額規模別工場数の構成割合をみると、前回調査に比べ「1～5億円」及び「20億円以上」の階層において上昇となったものの、それ以外の階層で低下となった。

図13 合単板工場の販売金額規模別工場数割合

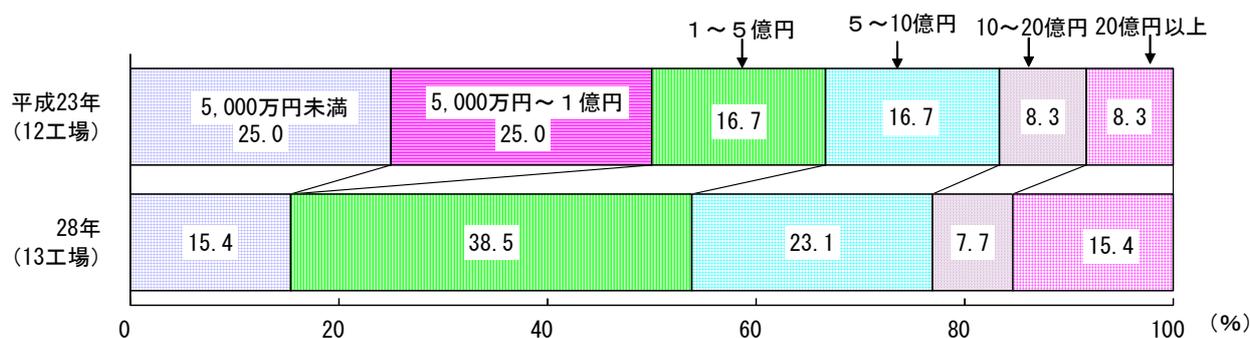


ウ LVL工場

工場数は13工場で、前回調査に比べ1工場（8.3%）増加した。

販売金額規模別工場数の構成割合をみると、前回調査に比べ「5,000万円未満」、「5,000万円～1億円」及び「10～20億円」の各階層において低下となったものの、それ以外の階層で上昇となった。

図14 LVL工場の販売金額規模別工場数割合



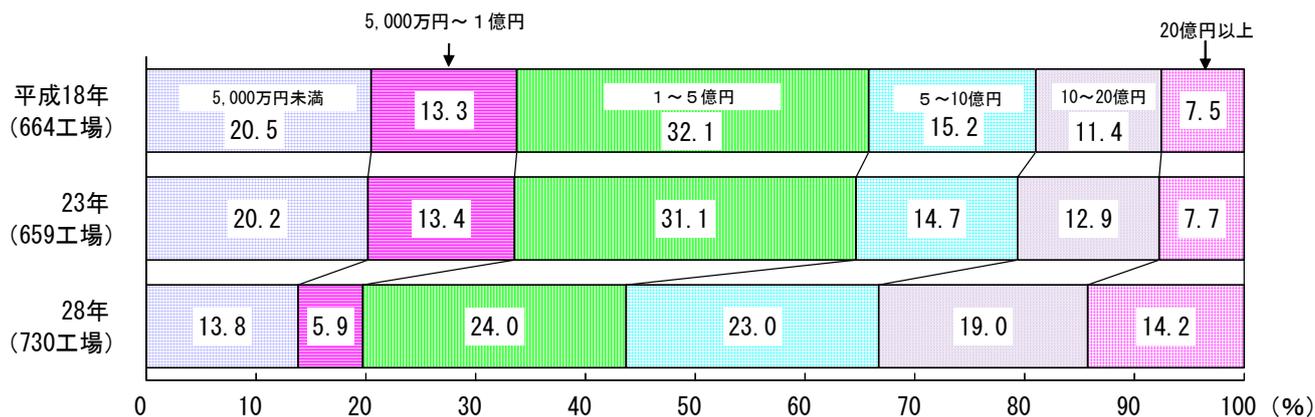
注：平成18年は、調査を実施していない。

エ プレカット工場

工場数は730工場で、前回調査に比べ71工場（10.8%）増加した。

販売金額規模別工場数の構成割合をみると、前回調査に比べ「1～5億円」以下の各階層において低下となったものの、「5～10億円」以上の各階層で上昇となった。

図15 プレカット工場の販売金額規模別工場数割合

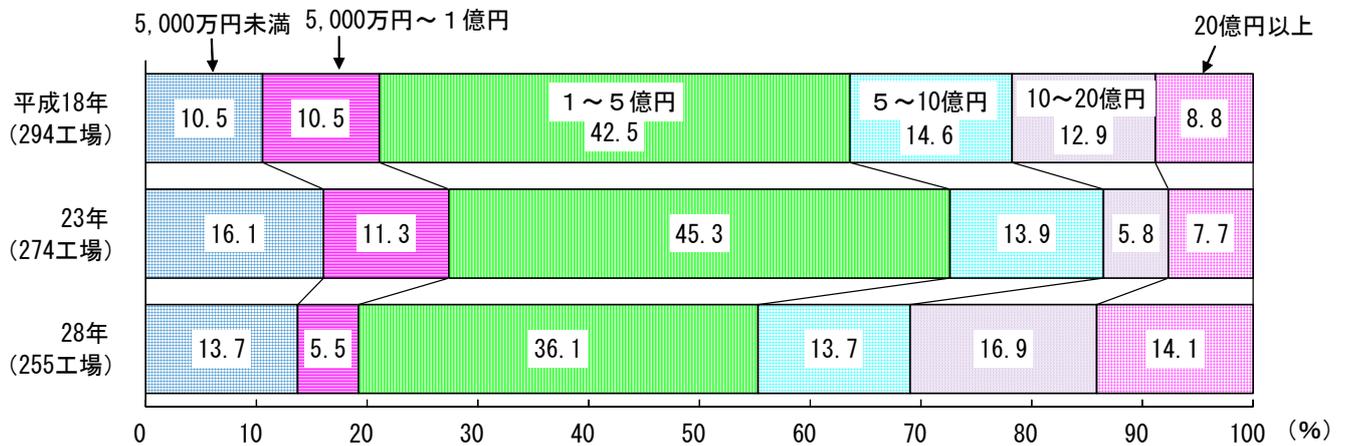


オ 集成材工場

工場数は255工場で、前回調査に比べ19工場（6.9%）減少した。

販売金額規模別工場数の構成割合をみると、前回調査に比べ「5～10億円」以下の各階層において低下となったものの、それ以外の階層で上昇となった。

図16 集成材工場の販売金額規模別工場数割合

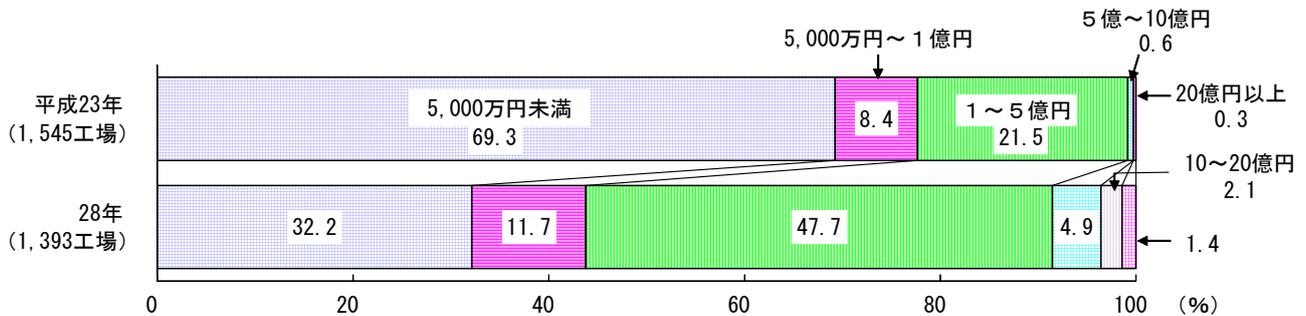


カ 木材チップ工場

工場数は1,393工場で、前回調査に比べ152工場（9.8%）減少した。

販売金額規模別工場数の構成割合をみると、前回調査に比べ「5,000万円未満」の階層において低下したものの、それ以外の階層で上昇となった。

図17 木材チップ工場の販売金額規模別工場数割合



注：平成18年は、調査を実施していない。

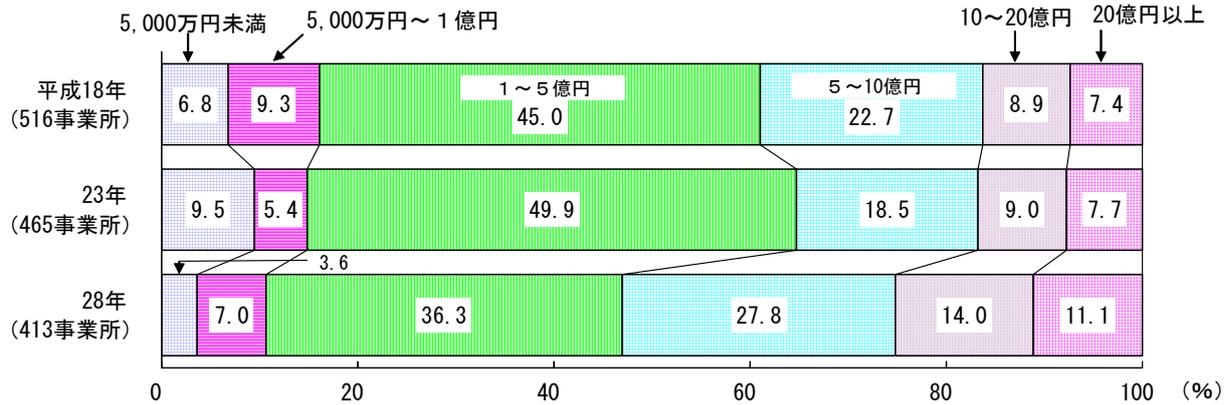
(2) 流通業者

ア 木材市売市場等

事業所数は413事業所で、前回調査に比べ52事業所（11.2%）減少した。

販売金額規模別事業所数の構成割合をみると、前回調査に比べ「5,000万円未満」及び「1～5億円」の階層において低下となったものの、それ以外の階層で上昇となった。

図18 木材市売市場等の販売金額規模別事業所数割合



イ 木材販売業者

事業所数は7,487事業所で、前回調査に比べ917事業所（10.9%）減少した。

販売金額規模別事業所数の構成割合をみると、前回調査に比べ「5,000万円未満」及び「1～5億円」の階層において低下となったものの、それ以外の階層で上昇となった。

図19 木材販売業者の販売金額規模別事業所数割合

